

NEWS LETTER Vol.18

2022.6

蛍光灯の値上がり

そろそろ梅雨入りの季節となりました。

コロナが少し落ち着いてきたかなと思えば、ウクライナ侵攻で、やれ原油高だ、食糧不足だ、電力不足だ、物価高騰だと、色々頭の痛い問題が続きますね。少し選択肢を間違えると、一気に第三次世界大戦に突入しそうな危うさを感じます。

さて、以前も一度お伝えしましたが、「2030年までにLED照明などの次世代照明に100%転換を目指す」と政府が2010年に発表をしています。これを受けて主要各メーカーは既に2017年～2019年に蛍光灯器具の生産を終了しています。

これに伴い、使用される蛍光管も、使用量が大幅に減り採算が合わないとして、各社2019年までに次々と生産中止をしております。東芝ライテックが2020年1月に一部終了、残るはパナソニックで、生産終了は未定となっておりますが、終了の方向は間違いありません。

残った蛍光管も何度にも渡って値上げが進められているそうです。先日も営繕から「20Wの直管型蛍光灯の在庫がない」と報告を受けコーナンに向かいました。直近ジリジリと高くなっているなどは思っていたが、値段が上がってきたなと意識した3、4年前の2倍ぐらいの値段になっています。ダウンライトなどでよく利用されているコンパクト型蛍光管は元値が1,000円以上と高いので、これが倍近くの値段になると負担感も高くなります。



また店員さんが別のお客さんに「今のところ蛍光灯のゴミ出しは神戸市は従来通りやってるけど、そのうち条件が付くようになるかもしれない」という説明をされてました。蛍光灯には水銀も使用されているためです。

LED照明器具も普及が進んで、大分値段が安くなってきました。消防法の対象となる非常バッテリーを含んでいるものはやはり高いですが、それ以外のものは従前の電灯器具と変わらない価格になってきたと思います。

蛍光灯が元々省エネな電灯だったため、LED照明に代えて電気代で回収するには時間が掛かりますが、今後の蛍光管の交換・維持費を考えると、そろそろ交換を御検討いただく時期に入ってきたかなと思います（何件か交換の御指示も頂いております）。

冒頭のコロナや政情で、電灯器具も価格や納期が読みきれない部分もありますが、給湯器や電気温水器に比べるとまだ安定していると思います。

皆様も、一度お調べ・御検討いただければと思います。



収益物件売買・資産運用、不動産のことなら

(有) フロンティアホーム 文責：川井

神戸市灘区深田町2丁目3-8-1 TEL：078-856-8181

公益財団法人日本賃貸住宅管理協会会員